

森 覚 議員

会派名

公明党草加市議会議員団



予防接種等に関する  
事柄について

**質問** 带状疱疹ワクチン接種費用への助成について、令和4年12月定例会と令和5年9月定例会にて同様の質問をしたが、その後も全国の自治体で接種費用の助成が大きく広がっている。また、私をはじめ同じ会派の議員へも「草加市として接種費用の補助をしてほしい。」「友人・知人が罹患し、その苦しむ姿を見て、他人ごとではないと思ひ恐怖すら覚える。」等の声が多数寄せられている。埼玉県内で、2年前には4自治体、昨年は14自治体が助成しているとのことであった。現在県内で助成をしている自治体数と、助成について市の考えを伺う。

**答弁** 本年9月現在、県内63市町村中36市町村が助成している。国の動向として厚生労働省の厚生科学審議会予防接種基本方針部会において公費で負担する定期接種化への審議が進められている。正式な通知はまだないが、定期接種化への一定の示しがあった。

本市としては、定期接種化に向けて円滑に対応できるよう草加八潮医師会等と協議し進めていく。

**要望** 定期接種化に向け国が示す接種対象者等から漏れてしまう方に対し、草加市として独自の助成等を検討していただくことを要望する。

平山 杏香 議員

会派名

SOKA新政議員団



学童保育の充実・体制  
強化と支援拡充を要望

**質問** 学童保育の現状と課題について伺う。本市の学童保育施設数、定員、利用者数の実態は。また、待機児童の状況や学童保育不足の要因、運営体制の課題について伺う。さらに、民間事業者や保護者への支援策の現状と、拡充の可能性について市の見解を伺う。

**答弁** 児童クラブは40クラブあり、定員は2,765人、利用者数は2,876人で定員超過の状況である。待機児童は本年4月1日時点では27人いたが、現在は解消されている。学童保育不足の要因は、施設確保の難しさや財政制約、人材不足が挙げられる。民間事業者への支援は未実施だが、他市の事例を参考に今後検討する。保護者への支援として保育料の減額及び免除を行っており、さらなる拡充については、今後整理していく。

**要望** ①学校内施設の積極活用と施設増設を推進し、需要に対応する体制を整備すること。②待機児童解消のため、潜在ニーズを把握し包括的な対策を講じること。③民間事業者支援の拡充により新規参入を促進し、既存事業者の運営安定化も図ること。④保護者支援をさらに強化し、共働き世帯の負担軽減を進めることを求める。

田川 浩司 議員

会派名

SOKA新政議員団



市民の防犯カメラ設置  
に補助金制度導入を！

**質問** 闇バイト等による強盗事件が社会問題になっている。報道を通じ、「我が家が犯罪に遭ったらどうしよう。」と、心配する市民は少なくない。防犯カメラの設置は多くの市民が望み、市民アンケートでもここ数年常に一番である。草加市は市民などが設置した場合の補助制度がない。近隣自治体の補助制度の状況は？

**答弁** 東南部5市1町には補助制度がない。川口市は町会・自治会へ1台につき上限20万円、予算1,250万円。蕨市は個人や4戸以上共同住宅所有者の設置費用半額、個人上限2万円、共同住宅上限10万円、予算160万円。足立区は町会・自治会など1団体につき設置費用95%補助、上限570万円、予算1億500万円。個人や共同住宅所有者へ設置費用半額、個人上限3万円、共同住宅所有者上限15万円5台まで。また、自転車ワイヤーロック等の防犯物品購入補助もあり、予算約5,975万円。なお、侵入盗被害や凶悪強盗事件の多発を受け、本年11月18日から緊急特別対策「侵入強盗・窃盗緊急特別対策補助金」を開始している。

**要望** 補助金申請要件に、子ども避難所登録等を加えることで、児童・生徒の防犯対策など、複合的な効果が期待できる。早期の補助金制度導入を要望する。

平野 厚子 議員

会派名

無所属（会派所属なし）



職員採用のあり方を  
改めよ

**質問** 職員採用試験において、調理士11人の受験者全員を不合格にし、新田中・長栄小の給食調理業務を民間委託にした。山川市長になっておかしな採用の仕方をしていると考える。令和5年度の事務職は80人の募集に対し93人の合格者を出す一方、資格職は46人の募集(若干名を2人として積算した場合)に対し29人の合格者しか出していない。令和6年の採用者数は？保育士、調理士、ケースワーカーの民間委託を進めたいと思っているのでは？

**答弁** 令和6年度の職員採用は、事務職は75人程度の募集に対し90人、資格職は保健師と保育士を10人程度、その他の業種は若干名の募集に対し22人の合格者数だった。民間委託について、公が行うサービスが必ずしも民間より優れているとは言えないという視点を持ち、相互に補完しあうことが今まで以上に必要と考える。

**質問** 2年連続で資格職の合格者は募集人数より少なかった。募集人員を確保できるようそれぞれの職種で面接の合格ラインを決めてきたが、合格者が出ないように変えたのでは？

**答弁** 事務職・資格職に限らず採用試験を実施し、採用基準を満たした方を採用している。

**要望** このような採用方法はやめていただきたい。